施主様用

UD087

このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書 自然浴生活

ワイドシャッターCタイプ
ワイドシャッターFタイプ
－ 電動タイプ －

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

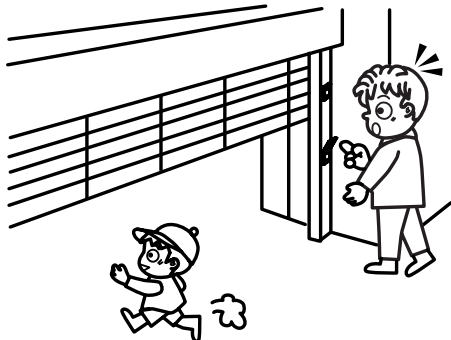
安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

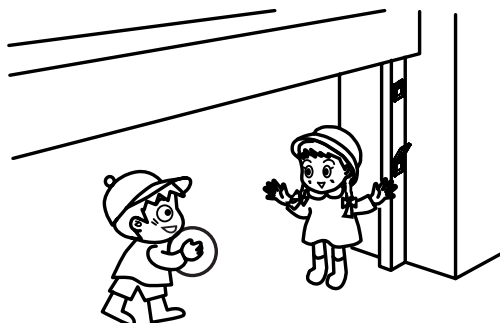
もくじ

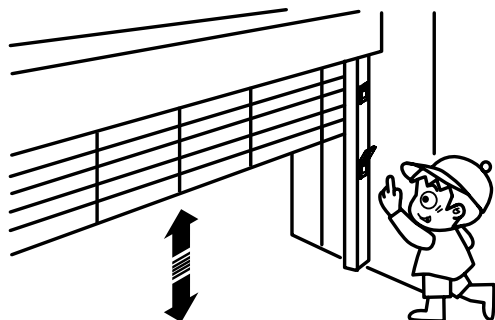
●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

UD087_200704A

1　安全のために必ず守ってください

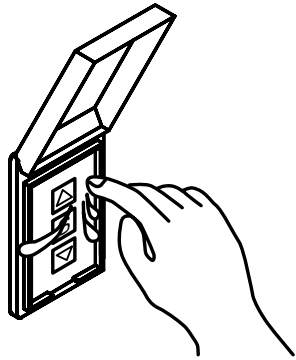
⚠警告

●シャッターの開閉位置に人や物がないことを必ず確かめてから操作をしてください。シャッターにはさまれて重大な事故になるおそれがあります。
●シャッターの開閉中は出入りをしないでください。シャッターにはさまれて重大な事故になるおそれがあります。

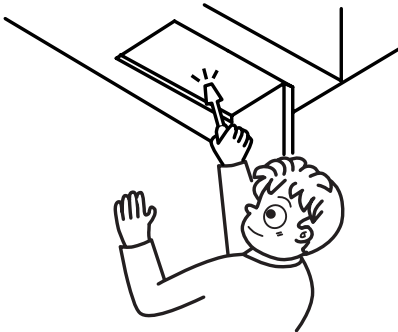
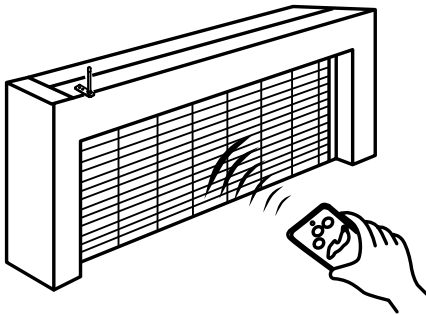
⚠警告

●シャッターの開閉位置付近でお子様を遊ばせないでください。誤ってシャッターを開閉し、はさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

⚠警告

●お子様には押ボタンの操作はさせないでください。誤ってシャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

⚠警告

●シャッターの開閉中はシャッターにぶらさがったり、手や足をかけないでください。誤ってシャッターに巻き込まれるなど重大な事故になるおそれがあります。

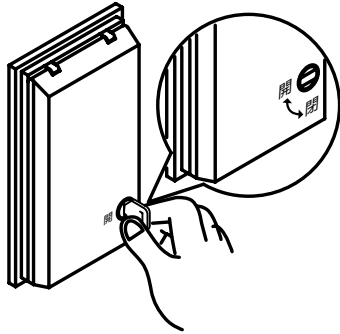
⚠ 警 告

●濡れた手で押ボタンの操作はしないでください。感電するおそれがあります。

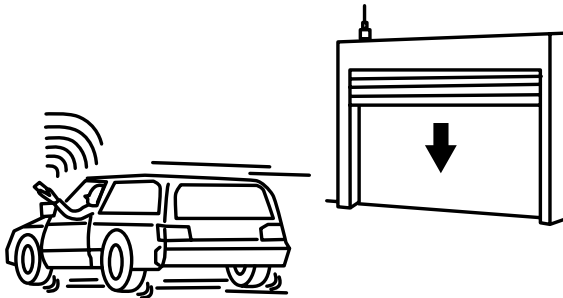
⚠ 警 告

●点検口は停電時の手動操作時以外はあけないでください。また、あけた場合でも手や金属物を差込まないでください。感電するおそれがあります。

⚠ 警 告

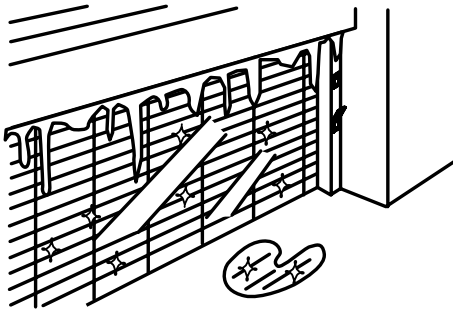
●リモコン送信器で操作する場合は、開閉が終わるまでシャッターが見えるところから離れないでください。人や物があった場合、シャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。
●お子様にはリモコン送信器の操作はさせないでください。誤ってシャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

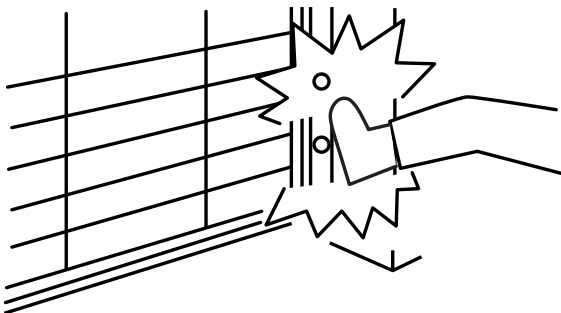
⚠ 警 告

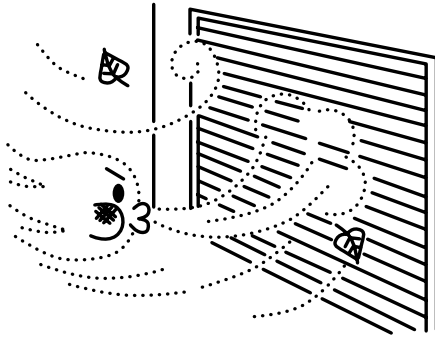
●リモコン送信器をズボンの後ポケットなどに入れないでください。誤ってボタンを押してシャッターが動き、シャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

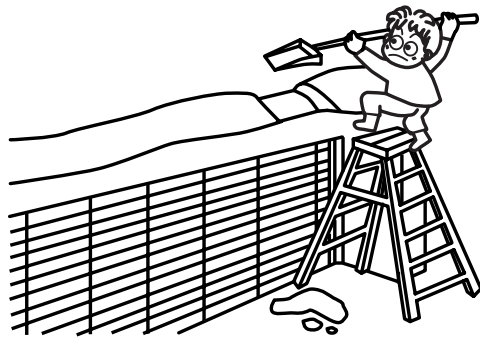
⚠ 警 告

●押ボタンスイッチを使用しない場合は施錠をしてください。お子様が操作をして、誤ってシャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

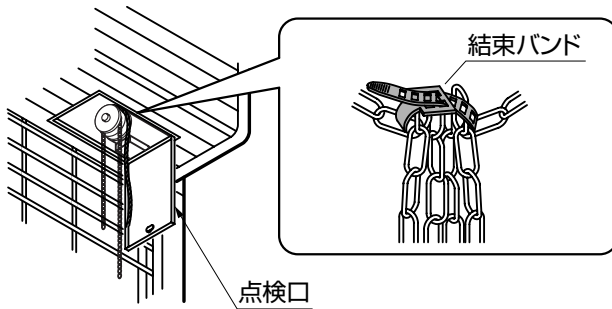
⚠ 警 告

●車内からリモコン送信器で操作する場合は、開閉が終わるまでシャッターが見えるところから離れないでください。人や物があった場合、シャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

⚠ 警 告

●シャッターが凍結した場合は、必ず溶けてから操作をしてください。安全装置が正常に作動せず、人や物があった場合、シャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

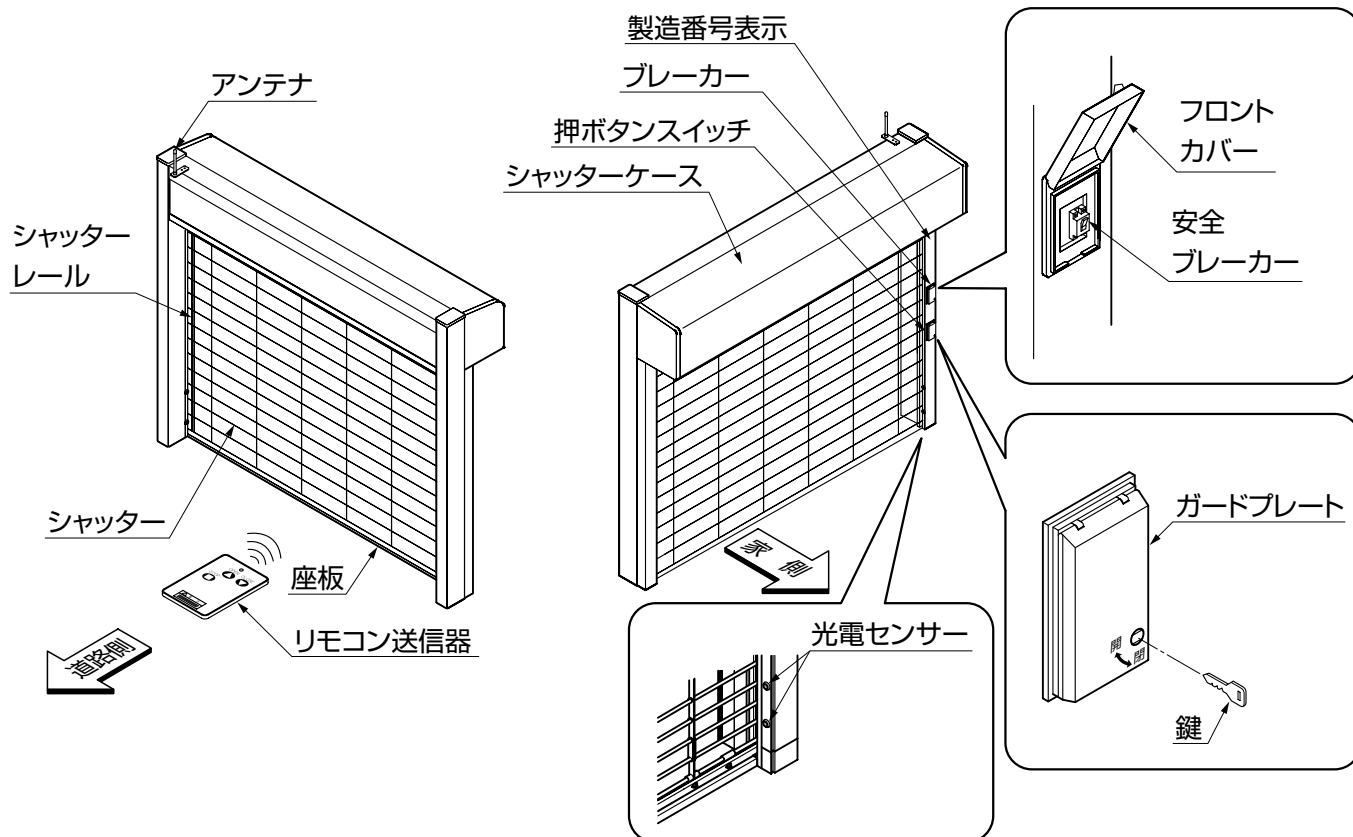
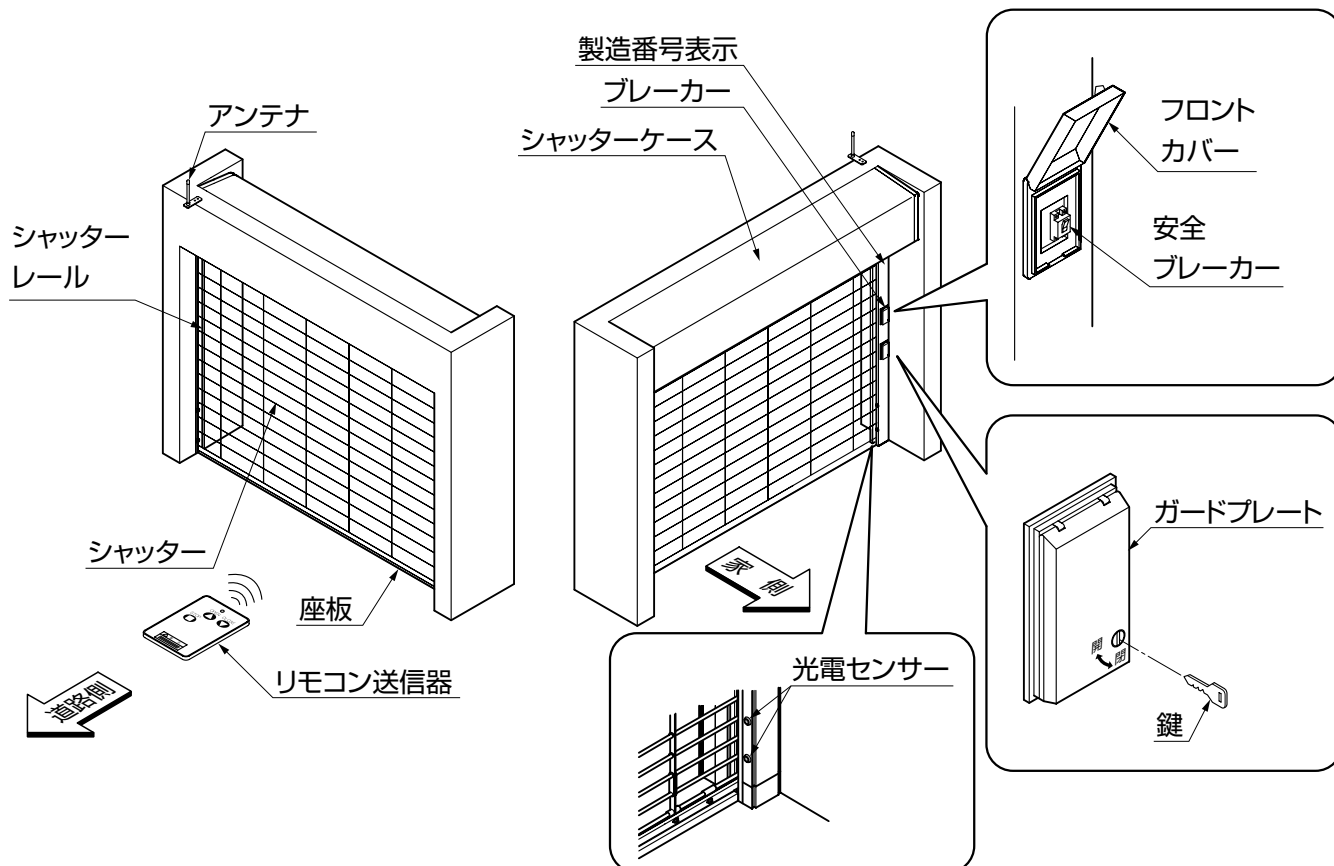
⚠ 警 告

●光電管部分に強い衝撃をあたえないでください。衝撃で故障して安全機能が働かなくなり、シャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

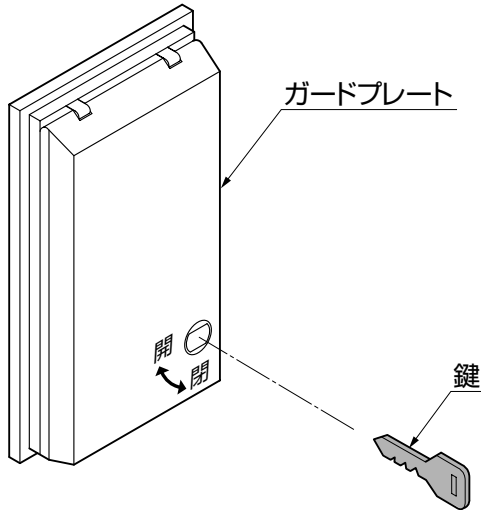
⚠注意

●台風など強風時には無理にシャッターを操作しないでください。故障の原因になったり、急に強風が吹き込み転倒などケガをするおそれがあります。

⚠注意

●シャッターケース部分の積雪が20cmを超えた場合は雪下ろしをしてください。落雪でケガをするおそれがあります。

⚠注意

●手動操作用チェーンを使用した後、点検口に収納するときは必ず、結束バンドで束ねてください。点検口をあけたとき、落下してケガをするおそれがあります。

2　各部の名称

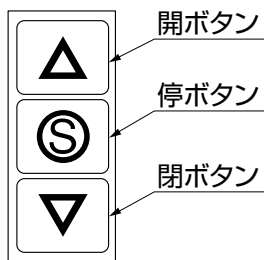
（1）ワイドシャッターFタイプ

（2）ワイドシャッターCタイプ

3　使用方法

3 - 1　押ボタンスイッチ蓋の開閉方法

①押ボタン操作をする場合は、ガードプレートのロック部を鍵で解錠し、上方向にあけます。

補 足

●ガードプレートの鍵は、「閉」の位置にしないと抜けません。

3 - 2　押ボタンスイッチの操作方法

（1）シャッターをあける操作

①シャッターをあけるときは「開ボタン」を押します。
②シャッターは全開すると自動的に止まります。

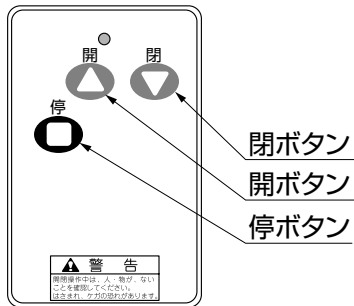
（2）シャッターを閉める操作

①シャッターを閉めるときは「閉ボタン」を押します。
②シャッターは全閉すると自動的に止まります。

（3）シャッターを途中で止める操作

①シャッターを途中で止めるときは、「停ボタン」を押します。
②シャッターは任意の位置で止まります。

3-3 リモコン送信器の操作方法

（1）シャッターをあける操作

①シャッターをあけるときは、リモコン送信器をアンテナに向けて、「開ボタン」を押します。
②シャッターは全開すると自動的に止まります。

（2）シャッターを閉める操作

①シャッターを閉めるときは、リモコン送信器をアンテナに向けて、「閉ボタン」を押します。
②シャッターは全閉すると自動的に止まります。

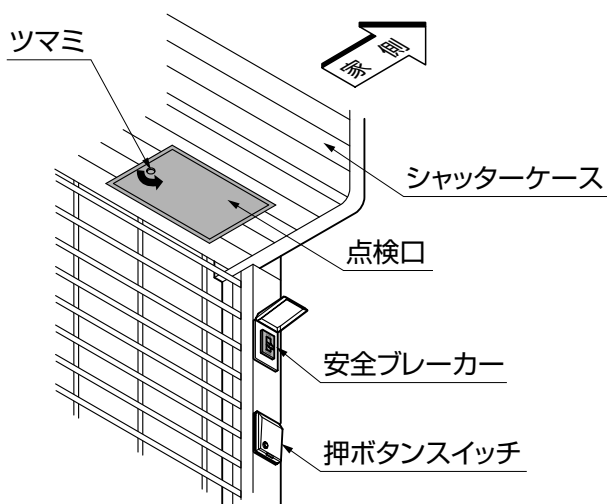
（3）シャッターを途中で止める操作

①シャッターを途中で止めるときは、リモコン送信器をアンテナに向けて、「停ボタン」を押します。
②シャッターは任意の位置で止まります。

3-4 停電時の操作方法

補足

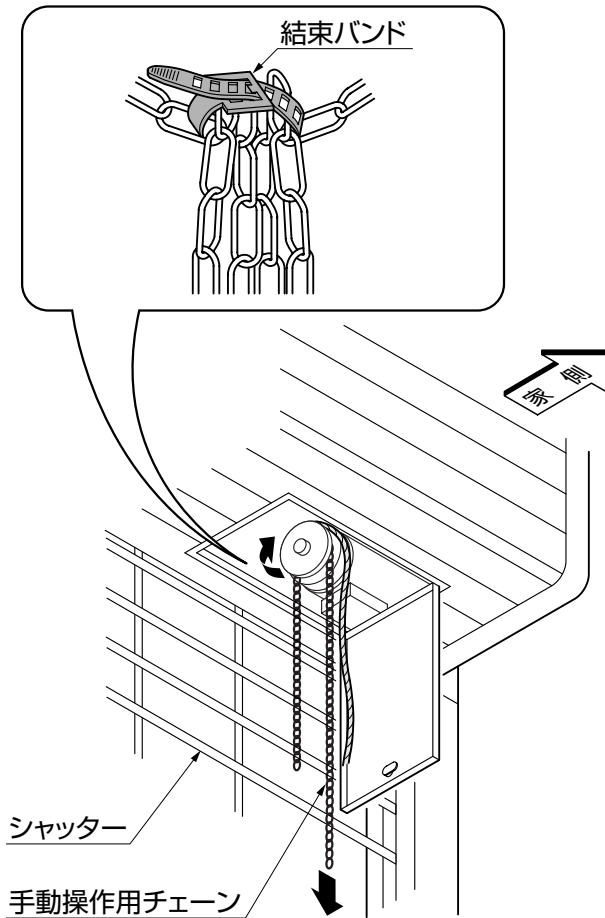
●停電などで電気が不通状態になった場合、緊急時の操作として手動での操作になります。
その場合、以下の手順にしたがってください。

（1）点検口をあける操作

①シャッター押ボタンスイッチの上にあるガードプレートをあけ、中にあるブレーカーを安全のために「OFF」にします。

補足

●ガードプレートの鍵は、「閉」の位置にしないと抜けません。

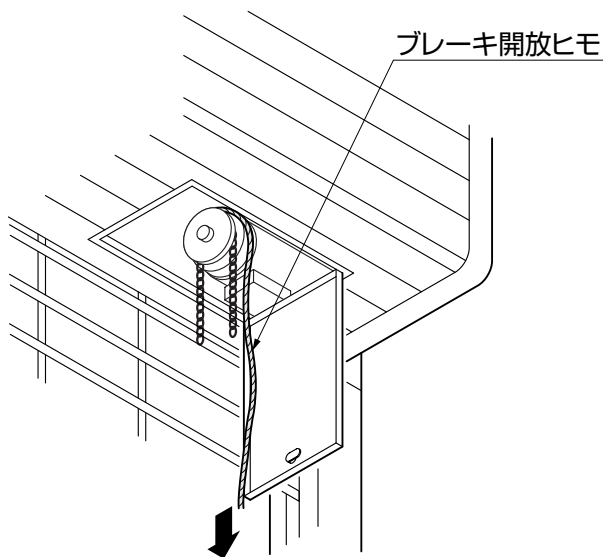
②シャッターケース下面パネルの内観右側にある点検口の錠部分のツマミを持ち、軽く上に持ち上げます。
③ツマミを反時計回りに180度まわします。
④点検口をゆっくりと下にひらきます。

（2）シャッターを開ける操作

①手動操作用チェーンの結束バンドを外して手動操作用チェーンを下にたらします。

⚠注 意

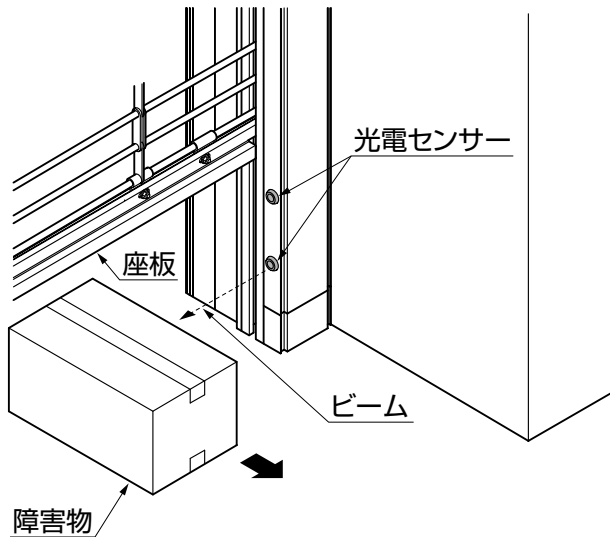
●チェーンを下ろす際、頭や身体に当たらないようにご注意ください。

②家側のチェーンを下に引くとシャッターがゆっくり開きます。
③シャッターが開いたら、手動操作用チェーンを結束バンドで止めます。

（3）シャッターを閉める操作

①ブレーキ開放ヒモを下にゆっくり引くとシャッターが閉まります。

（4）点検口を閉める操作

①点検口を閉めます。
②ツマミを時計回りに180度まわしてロックします。
③ブレーカーをONにします。

3-5 光電センサーが障害物を感知して停止した場合の復帰方法

①光電センサーのビームをさえぎる障害物があるとシャッターは自動的に停止します。

補足

●光電センサーは、シャッターが閉まるときに働きます。あけるときは、反応しません。
●操作前に障害物がある場合は、シャッターの開閉動作はしません。

②障害物を感知して停止した場合は、すぐに障害物を取除きます。

補足

●障害物を取り除けば、通常の操作ができます。

③シャッターの開閉位置に人や物がないことを十分確認してから開閉操作をします。

3-6 ご注意とお願い

注意

●無用な連続開閉運転をしないでください。発熱して開閉機が自動停止します。また、故障の原因になります。
●停電時の手動操作用チェーンは、シャッターより遠い家側を引っ張ってください。逆側を無理に引っ張ると故障の原因になります。
●停電時の手動操作用チェーン巻き上げ操作は、シャッター最下部がシャッターケース下面の約5cmまでにしてください。それ以上巻き上げると安全スイッチが働いて電動で動かなくなります。
●シャッターケース部分の積雪が20cmを超えた場合は雪下ろしをしてください。シャッターケースのたわみによりシャッターにキズがつく場合があります。
●積雪時は、光電センサー部に雪が積っていないか確認してください。雪が積っていると光電センサーが反応して動かなくなります。

お願い

●リモコン送信器をそのまま車のダッシュボードなど高温になるところに放置しないでください。変形や故障の原因になります。リモコン送信器は付属のケースに入れて、直射日光のあたらない場所に保管してください。
●リモコン送信器をズボンの後ポケットなどに入れないでください。リモコン送信器が破損するおそれがあります。
●光電センサー部に水をかけないでください。故障の原因になります。
●押ボタンスイッチに水をかけないでください。故障の原因になります。
●ガードプレートの鍵に刻印している番号をご使用前に下記に控えてください。

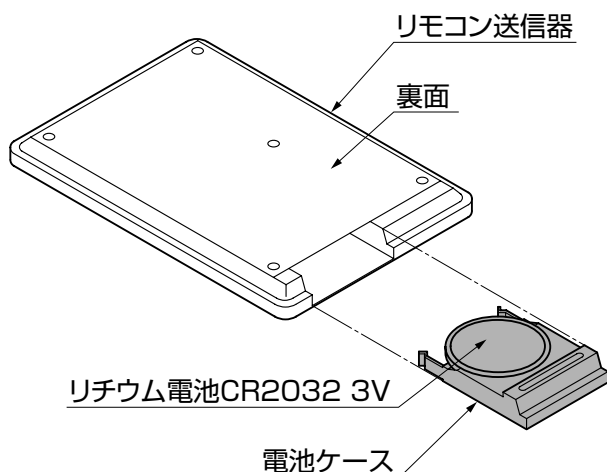
鍵番号	

紛失時はこの番号で発注してください。鍵番号が不明の場合は、ガードプレートごと交換になります。
●5分以上連続して操作すると、発熱防止の安全機能が働き、電動による開閉ができなくなる場合があります。その場合は、10分～15分待って開閉操作をお願いします。
●無用な連続操作はしないでください。故障の原因になります。

補足

●リモコン送信器の実用到達距離は約20mですが、周囲の環境で短くなることがあります。

4　電池の交換方法

4 - 1　リモコン送信器の電池交換

①リモコン送信器の電池ケースを引き抜きます。
②古くなったリチウム電池を取外します。
③新しいリチウム電池CR2032を入れて、電池ケースをリモコン送信器に差込みます。
④電池交換後、作動を確認します。

補 足

●電池の向きを間違えないでください。正常に作動しなくなります。

5　お手入れについて

（1）シャッターのお手入れ

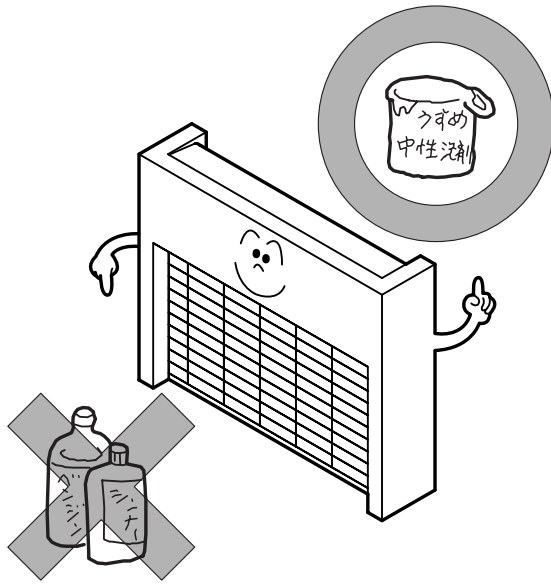
①表の清掃回数を目安にして水拭きした後、柔らかい布で乾拭きをしてください。

1年あたりの清掃回数の目安

環境 / 材質	湾岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
ステンレスシャッター・コンビネーションシャッター	10〜20	6〜10	4〜8	2〜4
アルミシャッター	1〜4	1〜3	0.5〜2	0.5〜1

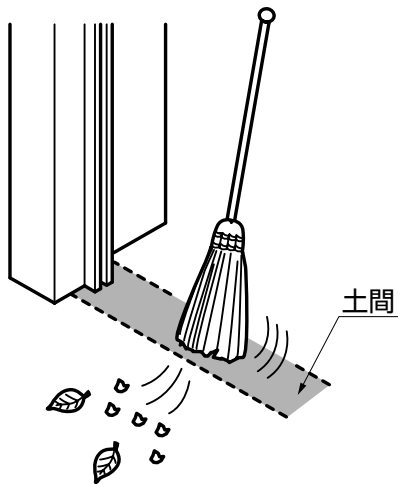
お願い

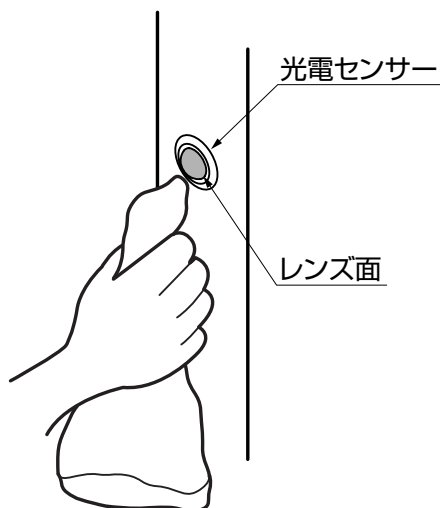
●ステンレスシャッターは、サビにくい材料ですが絶対にサビない材料ではありません。シャッターを設置する地域の環境に左右しますので上の表を目安にお手入れをしてください。
●ステンレスシャッターでもらいサビなどがひどい場合は、市販のステンレス用サビ落としクリーナーを使用してください。使用の前には、注意書きをよく読んでください。
●アルミシャッターは、開閉を繰り返すと表面に白い粉状のスジが発生します。これは表面のクリアー塗装が繰り返しの巻取り動作によって白い粉状になり、雨水などで横に広がったものです。表面の白い粉状のスジは水拭き後、柔らかい布で乾拭きすると落とすことができます。
●アルミシャッター表面についた砂ボコリなどは、定期的に水洗いをしてください。そのままで開閉を繰り返すと表面キズの原因になります。

（2）壁ユニットおよび柱ユニットのお手入れ

①定期的にお手入れをしてください。
a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きをしてください。
b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

●シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはがれるおそれがあります。

（3）土間のお手入れ

①シャッターが下りる土間に、砂や小石・落ち葉などがたまらないように、定期的に清掃をしてください。

（4）光電センサーのお手入れ

①レンズ面は月に1度を目安にして、かたくしぼった布で拭いてください。

お願い

●レンズ面が汚れると障害物を感知したのと同じ状態になり、シャッターが動かなくなるおそれがあります。
●水をかけて洗わないでください。洗剤・溶剤は使用しないでください。故障の原因になります。

6　修理を依頼する前に

●故障かなと思ったときは、修理を依頼する前にお調べください。
　直らなかったときは、修理をご依頼ください。

このようなとき	点　　検	処　　置
電動で動かない	屋内の電源が入っていますか	屋内の電源を入れてください
	停電していませんか	手動操作で開閉してください （「3-4　停電時の操作方法」参照）
	シャッター側のブレーカーが 落ちていませんか	ブレーカーのスイッチを入れてください。再びブレーカーが落ちる場合は、漏電のおそれがあります。修理を依頼してください （「3-4　停電時の操作方法」参照）
光電センサーで シャッターが動かない	シャッターの下に障害物がありませんか	シャッターの下の障害物を取除いてください （「3-5　光電センサーが障害物を感知して停止した場合の復帰方法」参照）
	光電センサーのレンズ面が汚れていませんか	光電センサーのレンズ面を清掃してください （「5　お手入れについて」参照）
リモコン送信器で動かない	リモコン送信器の電池が消耗していませんか	新しい電池と交換してください （「4-1　リモコン送信器の電池交換」参照）
	リモコン送信器の電池の向きが間違っていませんか	正しく取付け直してください （「4-1　リモコン送信器の電池交換」参照）
	実用到達距離の範囲外で操作していませんか	実用到達距離以内で操作してください （「8　仕様」参照）

7 修理

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、下記のシャッター専用フリーダイヤルまたはお買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●このフリーダイヤルはシャッター開閉不具合の修理専用です。その他の修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店（工事店）または、東洋エクステリア「お客様相談室」にお問い合わせください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

シャッター修理専用窓口（365日　24時間　緊急修理の依頼を受け付けています）

0120-113-398

故障の状況	できるだけ詳しく	ご　氏　名	
製　品　名		ご　住　所	
施　工　日	年　　月　　日	電 話 番 号	
施 工 店 名		そ　の　他	

8 仕様

シャッター部

使用電源		AC100V （50/60Hz）
開閉機特性	出力	120W
	定格電流	3.1A（50Hz） 2.8A（60Hz）
	定格時間	5分
開閉時間	H：2300	約29秒（50Hz） 約24秒（60Hz）
使用温度範囲		ー10～40℃（※1）
操作方法		3点押ボタンスイッチ
		リモコン送信器
付属のリモコン送信器数		2個 リチウム電池付

リモコン送信機

形　　式	リモコン送信器 AF2
出　　力	500μv／m以下（3m地点）
送 信 機 周 波 数	152.65MHz（VHF）
使　用　電　池	リチウム電池 CR2032 1個
電 池 寿 命（※2）	約2年
使 用 温 度 範 囲	0～40℃
実用到達距離（※3）	約20m以内
重　　量	28g

補 足

●凍結は除きます。（「1　安全のために必ず守ってください」参照）（※1）
●電池の寿命は、1回の押し時間が1秒で1日に10回操作したときの目安です。スイッチを押している時間や1日の操作回数で電池の寿命は異なります。（※2）
●リモコン送信機の実用到達距離は約20m以内ですが、周囲の環境で短くなることがあります。（※3）

TOEX

ワイドシャッターFタイプ ワイドシャッターCタイプ 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保証期間	対象部品	期間(お引渡し日より)
	本体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	平成　年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　(　)	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　(　)

東洋エクステリア株式会社
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-12 TEL(03)3341-5051(代)

1. 保証者
東洋エクステリア株式会社

2. 保証の対象者
当該商品の所有者

3. 対象商品
東洋エクステリアブランドで販売しているエクステリア商品

4. 保証内容
取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。

5. 保証期間
当該商品の施工完了日(お引き渡し日)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間)ただし、施工を伴わない商品についてはご購入された日から起算して1年間。

6. 免責事項
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①取付説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された施工・取り付け方法から逸脱したことに起因する不具合(例えば、腐食促進のおそれがある海砂・急結材等を使用したモルタルによる腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下など)。
②取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
④建築躯体や、外構工事、土間工事、電気工事などの商品以外に起因する不具合。
⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、ひび割れ、節抜け、ささくれ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
⑥自然現象や住環境に起因する結露、樹液の染み出しなどに起因する不具合(例えば、結露による凍結、かび、さび発生、樹液によるコンクリート壁面などの汚れなど)。
⑦環境が特に悪い地域又は場所に取付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどの付着によって起きる腐食や塗装剥離、異常な高温・低温・多湿による不具合など)。
⑧天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
⑨実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
⑩犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、又はつるや根などの植物の害による不具合。
⑪使用者や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取外し含む)に起因する不具合。
⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お客様相談室にお問い合せください。

―お客様相談室―
0120-171-705

東洋エクステリア株式会社

取説コード
UD087

JZZ614571A
200704A_1007
200706B_1007

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。